

# 株式会社 リビングロボット

人に寄り添い、人と共に成長するパートナーロボットの研究開発



© MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi

浜通りの社会課題の一つである果樹園・耕作放棄地等の雑草対策と労働人口の減少と高齢化対策を解決すべく、自動草刈りロボットを開発し、ロボットテストフィールドを拠点とした南相馬市内にて実証試験を行い、2026年度に製品化します。

福島ロボットテストフィールドを拠点として、ロボットプログラミング体験を実施しています。小型二足歩行ロボット「あるくメカトロウィーゴ」は、プログラミング授業やプログラミング大会「ウィーゴカップ」で南相馬市内を中心に活用されています。



## 概要

○福島県伊達市に本社を置き、人に寄り添い、人と共に成長するパートナーロボットの社会実装を目指して研究開発を行っております。2020年に福島ロボットテストフィールドに入居しました。

○2020年に製品化した「あるくメカトロウィーゴ」は、伊達市を皮切りに福島県内の小中学校で採用が進み、2022年から南相馬市でも導入されました。

○2023年には南相馬市と連携協定を締結し、教育・介護・農業の社会課題を南相馬市で解決し、全国展開して参ります。教育分野においては、2023年度から「ウィーゴカップ」を開催しており、最先端技術を使って教育の質の向上を目指しております。介護分野においては、「見守りウィーゴ」のを南相馬市内の介護施設にて実証試験を行って参りました。農業分野においては、浜通りの課題である高齢化による人材不足や東日本大震災での耕作放棄地などでの草刈りの課題を解決すべく、2022年度から自動草刈りロボットの開発および福島ロボットテストフィールドや南相馬市内の果樹園・耕作放棄地にて実証検証を行っており、2026年度に製品化します。

### 【基本情報】

団体名	株式会社リビングロボット
事業内容	人に寄り添い、人と共に成長するパートナーロボットの研究開発
研究室	3号室
サイトURL	<a href="https://livingrobot.co.jp/">https://livingrobot.co.jp/</a>
連絡先	<a href="mailto:info@livingrobot.co.jp">info@livingrobot.co.jp</a>

